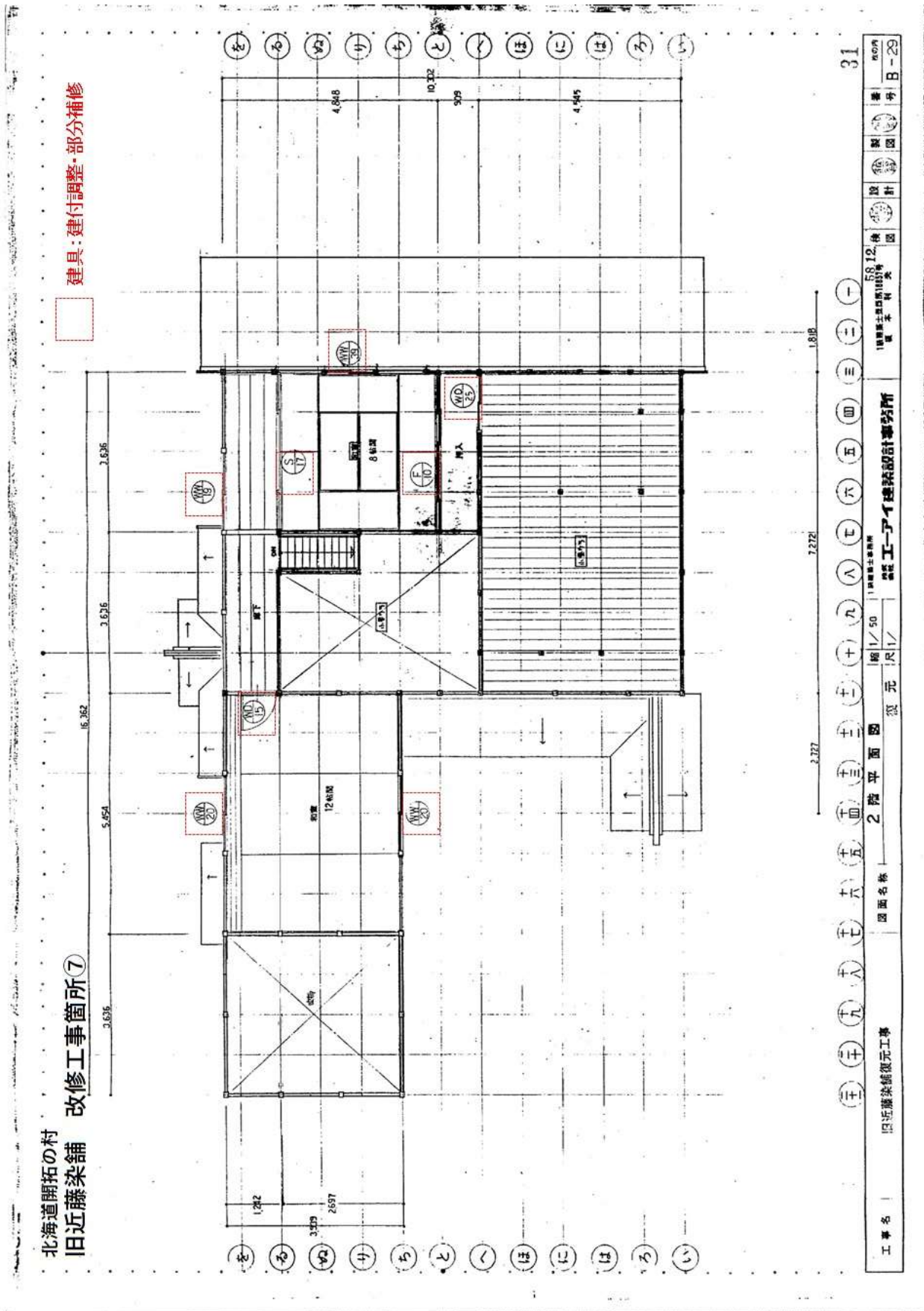
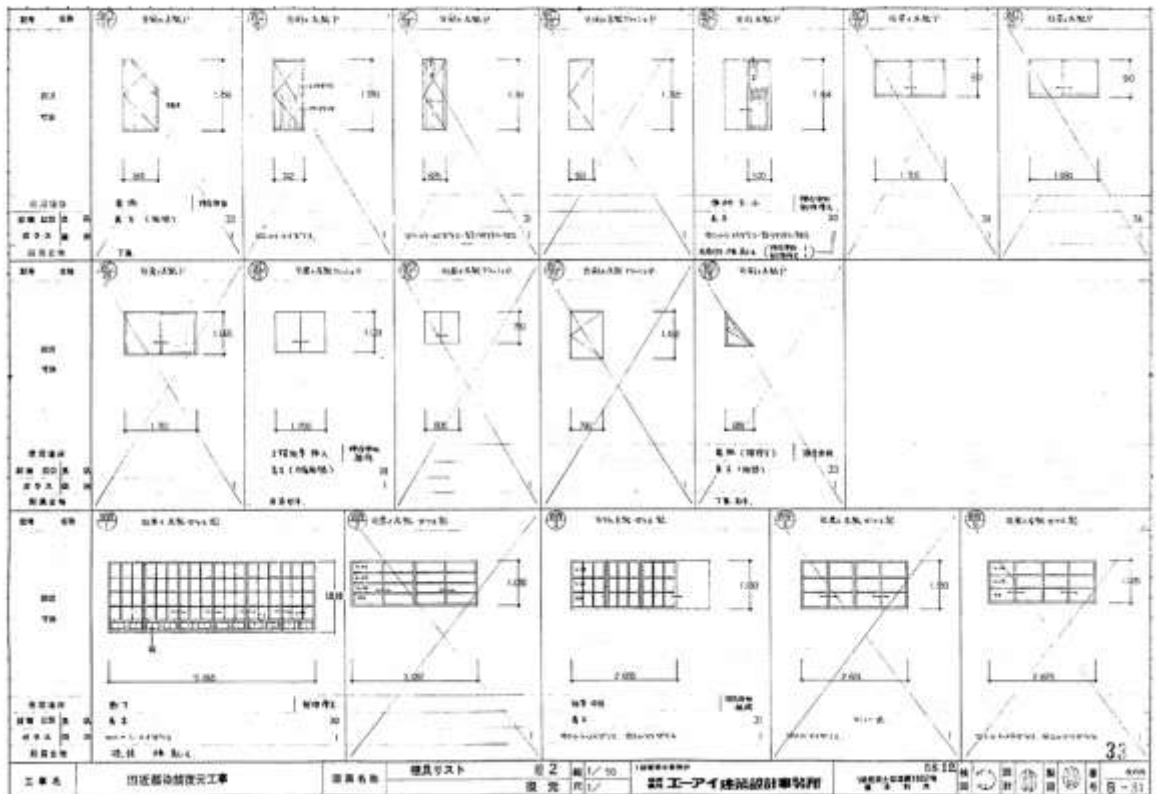
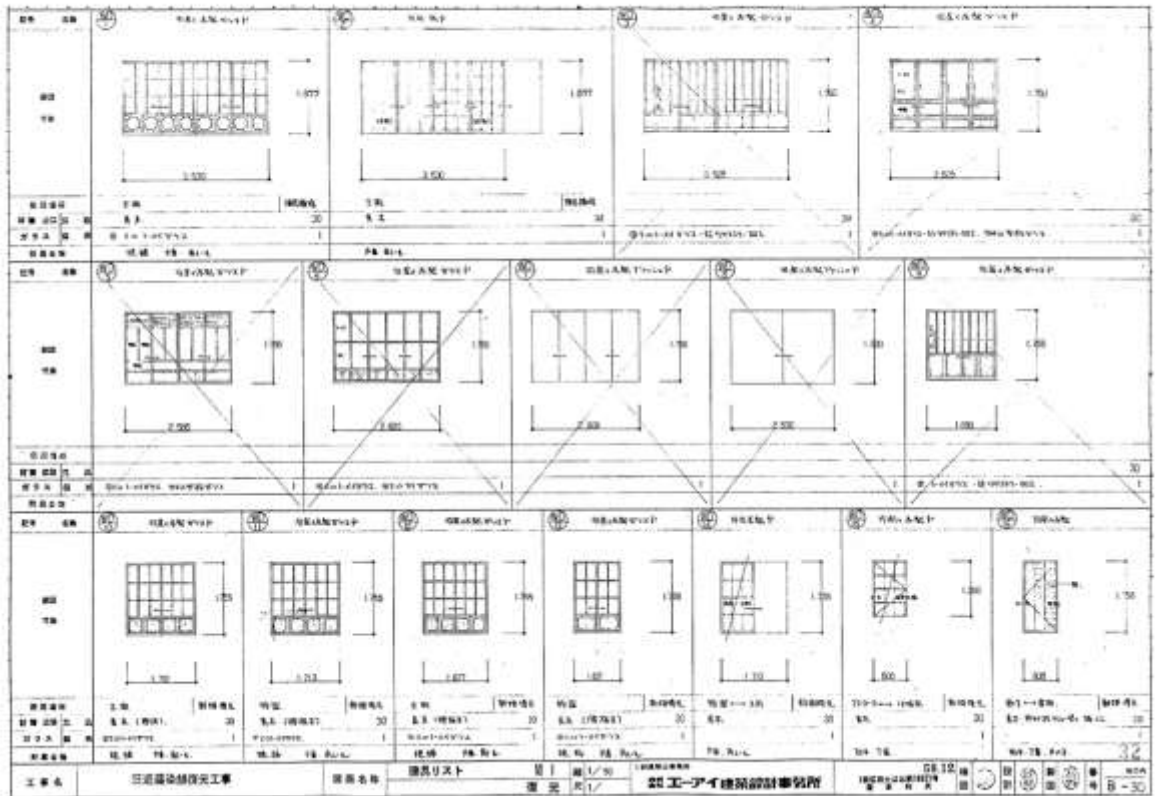


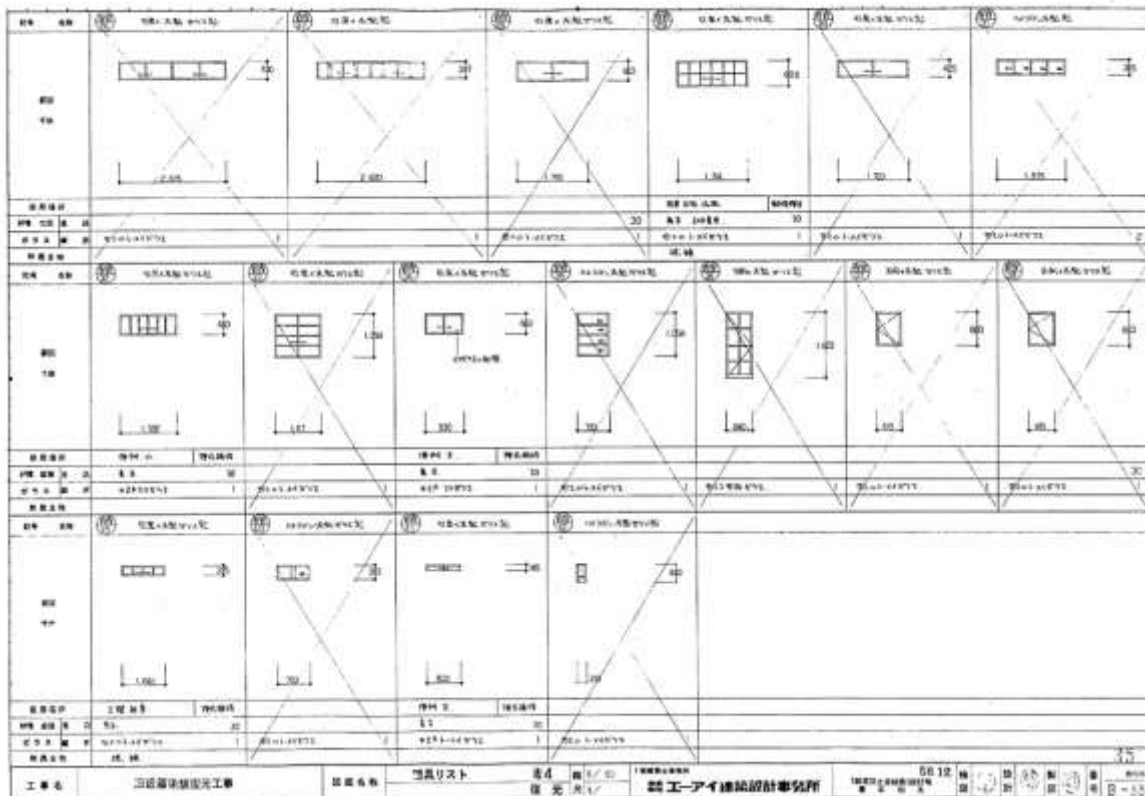
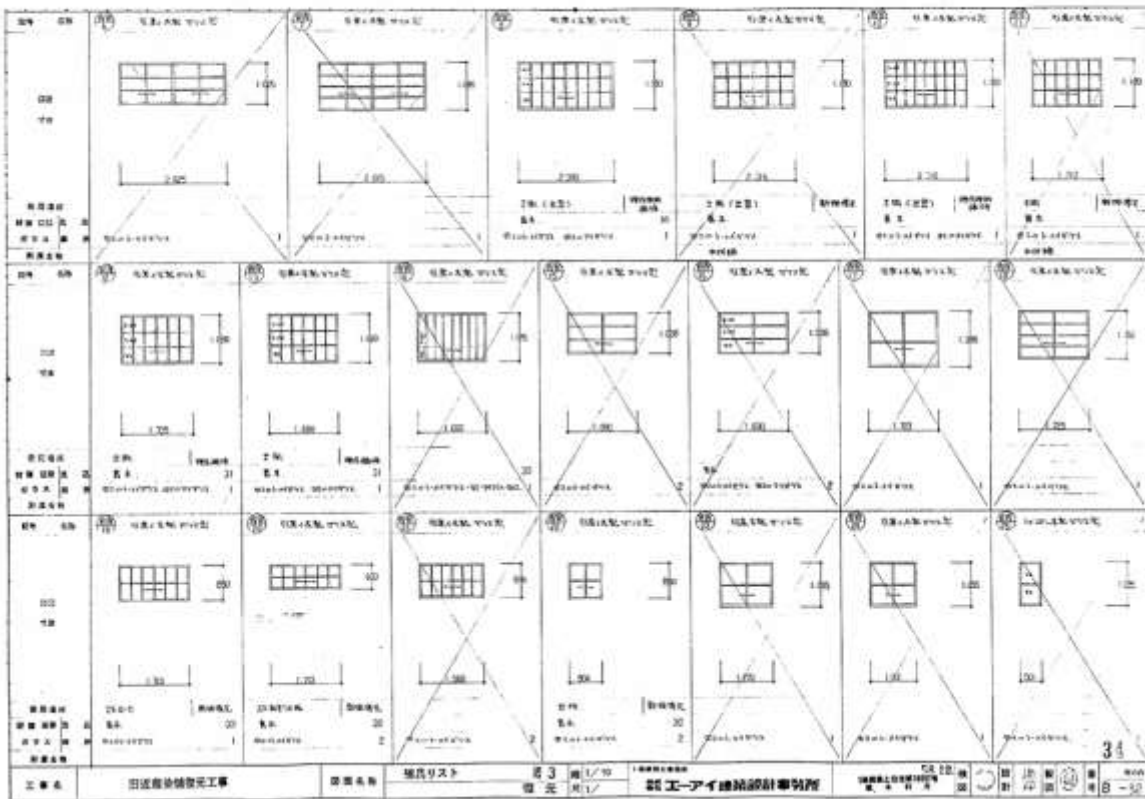
6. 旧近藤染舗及び旧小樽新聞社 改修方針



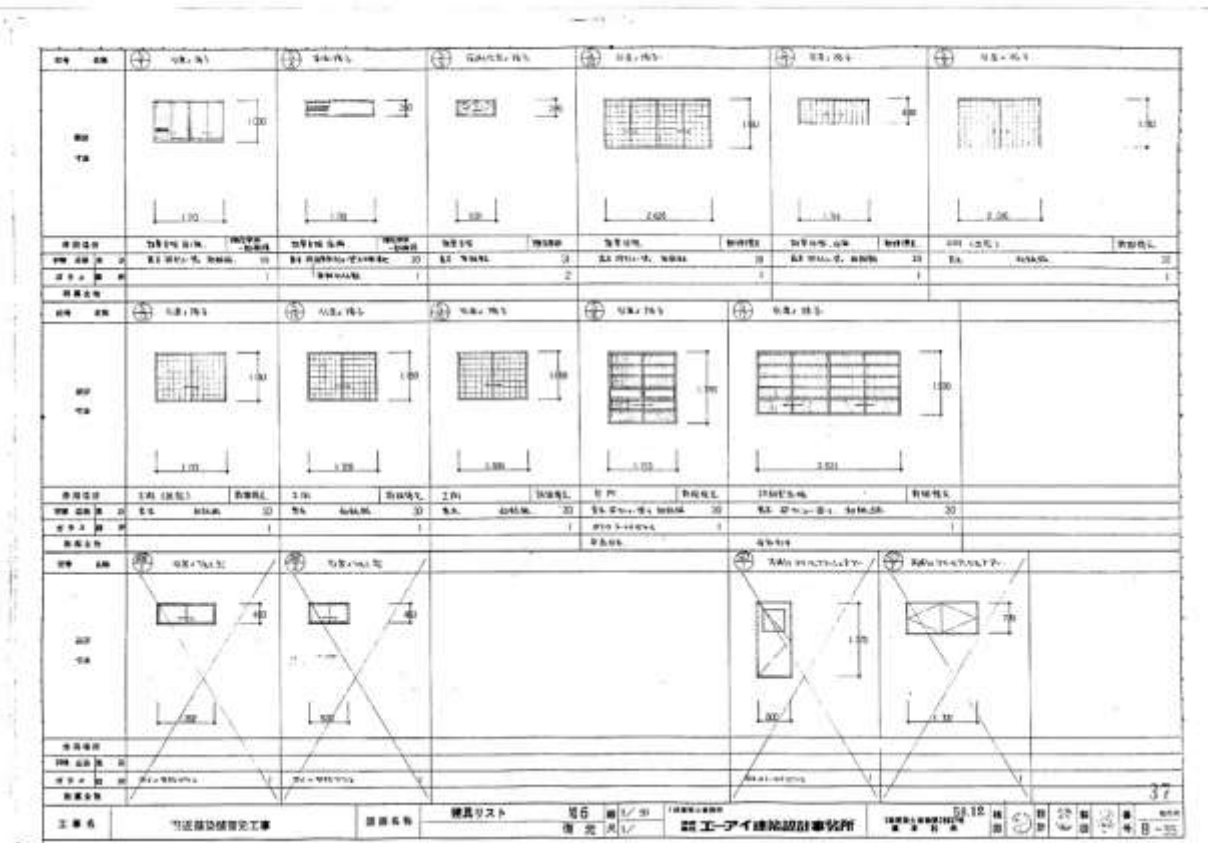
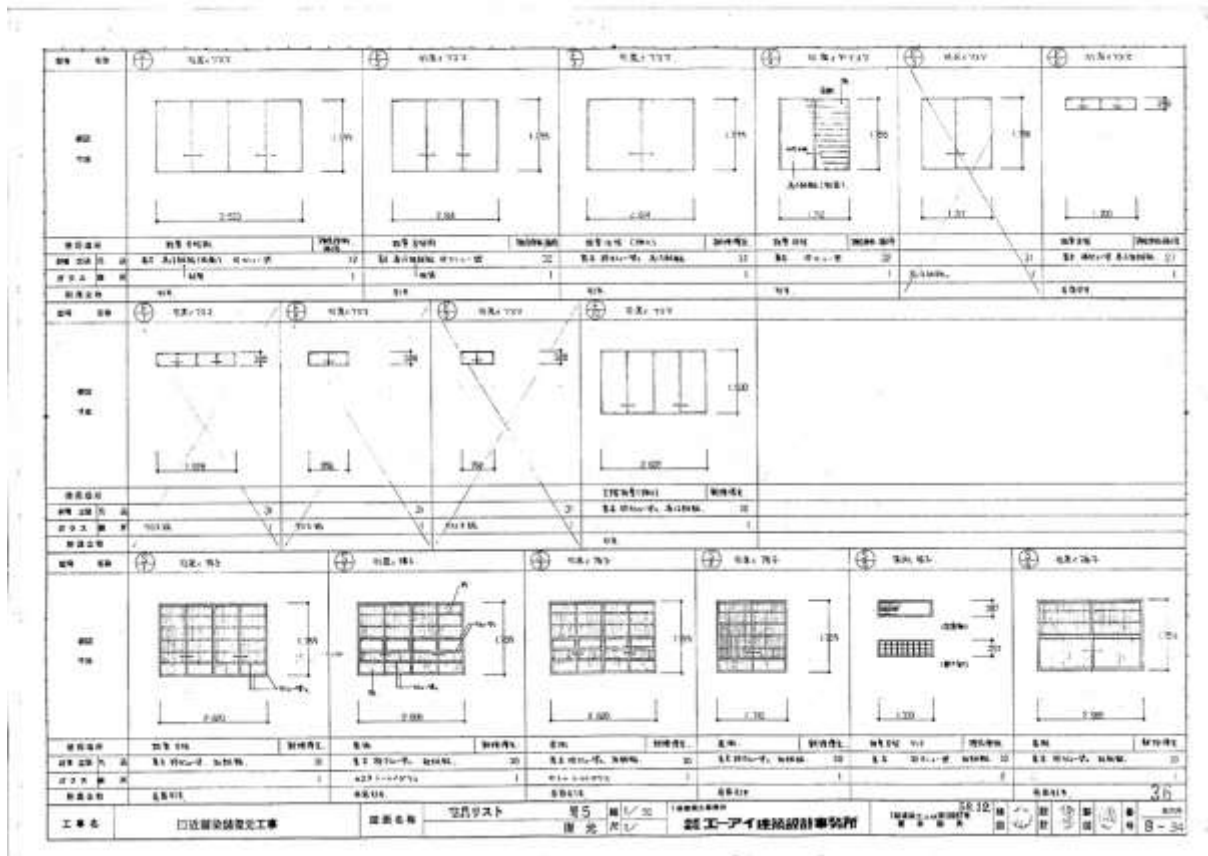
6. 旧近藤染舗及び旧小樽新聞社 改修方針



6. 旧近藤染舗及び旧小樽新聞社 改修方針



6. 旧近藤染舗及び旧小樽新聞社 改修方針



6-2 旧小樽新聞社

1) 構造評価及び劣化度調査結果概要

- ・「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」に準拠し、耐震2次診断を行った結果、XY両方向ともに各階で判定値を上回り「安全（想定する地震動に対して所要の耐震性を確保している）」と判定された。
- ただし、現況の目視調査の結果、付属する正面入口の庇については顕著な劣化損傷が確認されていることから、早急な補修が必要となっている。

2) 部位毎の改修方針、仕様、要求水準

a. 屋根

- ・鋼板屋根の全面塗装による補修を行う。

b. 外壁

【石壁】

- ・石材が著しく劣化した入口庇部分の改修は、石材の剥落防止等安全性の確保、外観の保存の観点から合理的な工法及び材料の選定（既存材料の活用含む）を検討する。
- ・石壁の建物正面や側面のひび割れ、欠損など劣化状況が著しい箇所は、壁体内部を調査し安全性を優先した補修方法を検討する。
- ・上記に関連して、建物周辺の立ち入り防護柵など、利用者等の安全確保において必要な安全施設の設置方法についても検討する。

（参考）石壁改修単価

内 容	単 価	備 考
外壁軟石ひび割れ補修	82.3 千円/m	5 m程度
外壁軟石欠損部補修	98.7 千円/箇所	18 箇所程度
外壁軟石表層部風化部はつり、補修	109.2 千円/箇所	122 箇所程度



入口庇部分の大きな欠け



外壁の欠け

c.内壁

【漆喰壁・天井】

- ・劣化部分を撤去後、本漆喰仕上げとする。
- ・ひび割れ・浮きによる劣化状況が著しい箇所は、仕上げ材を撤去し下地の調査により、下地補修の有無を確認し、補修方法を検討する。

d.躯体

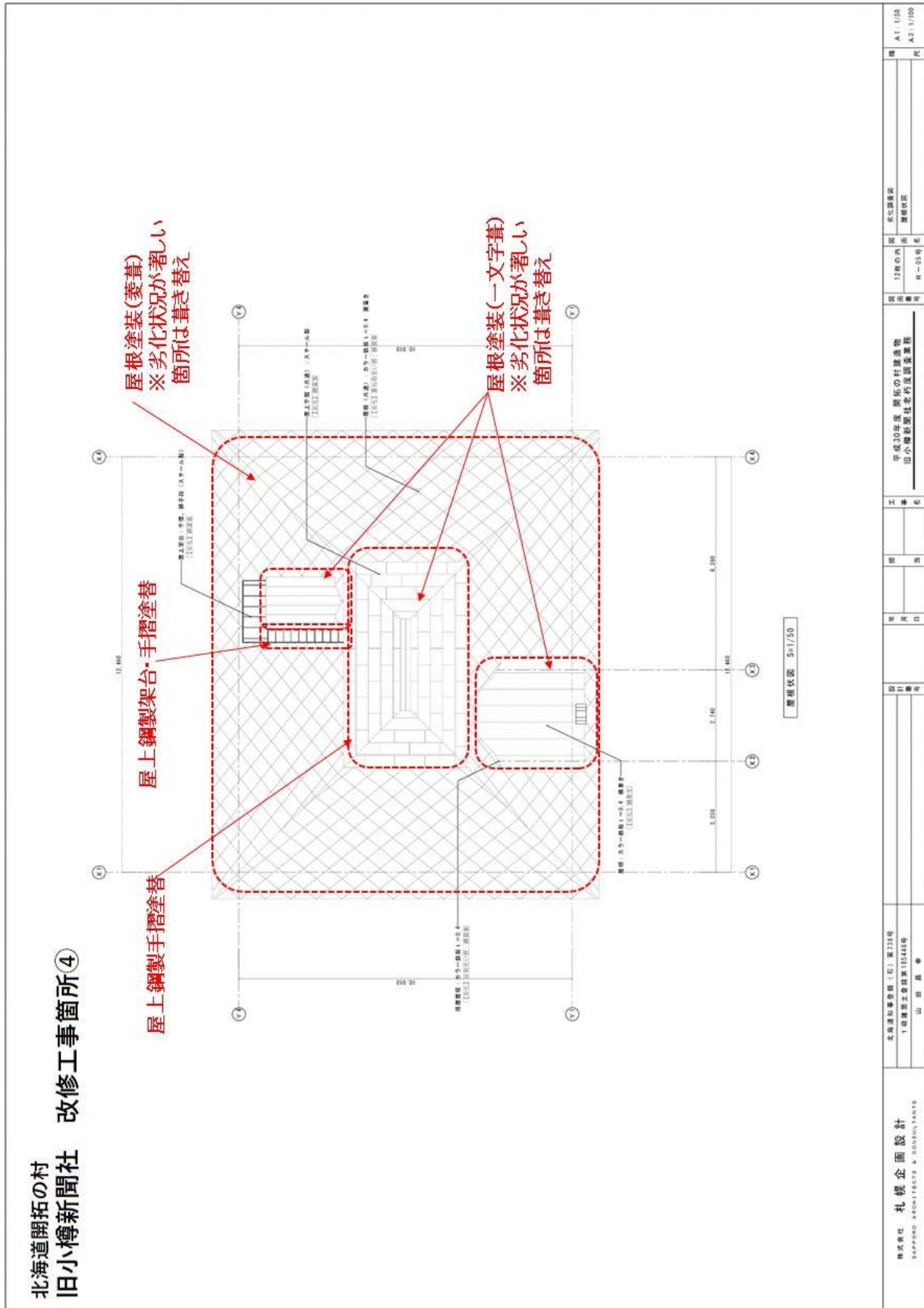
【RC】

- ・躯体のRC構造は健全と確認していることから構造上の改修・補修は行わない。

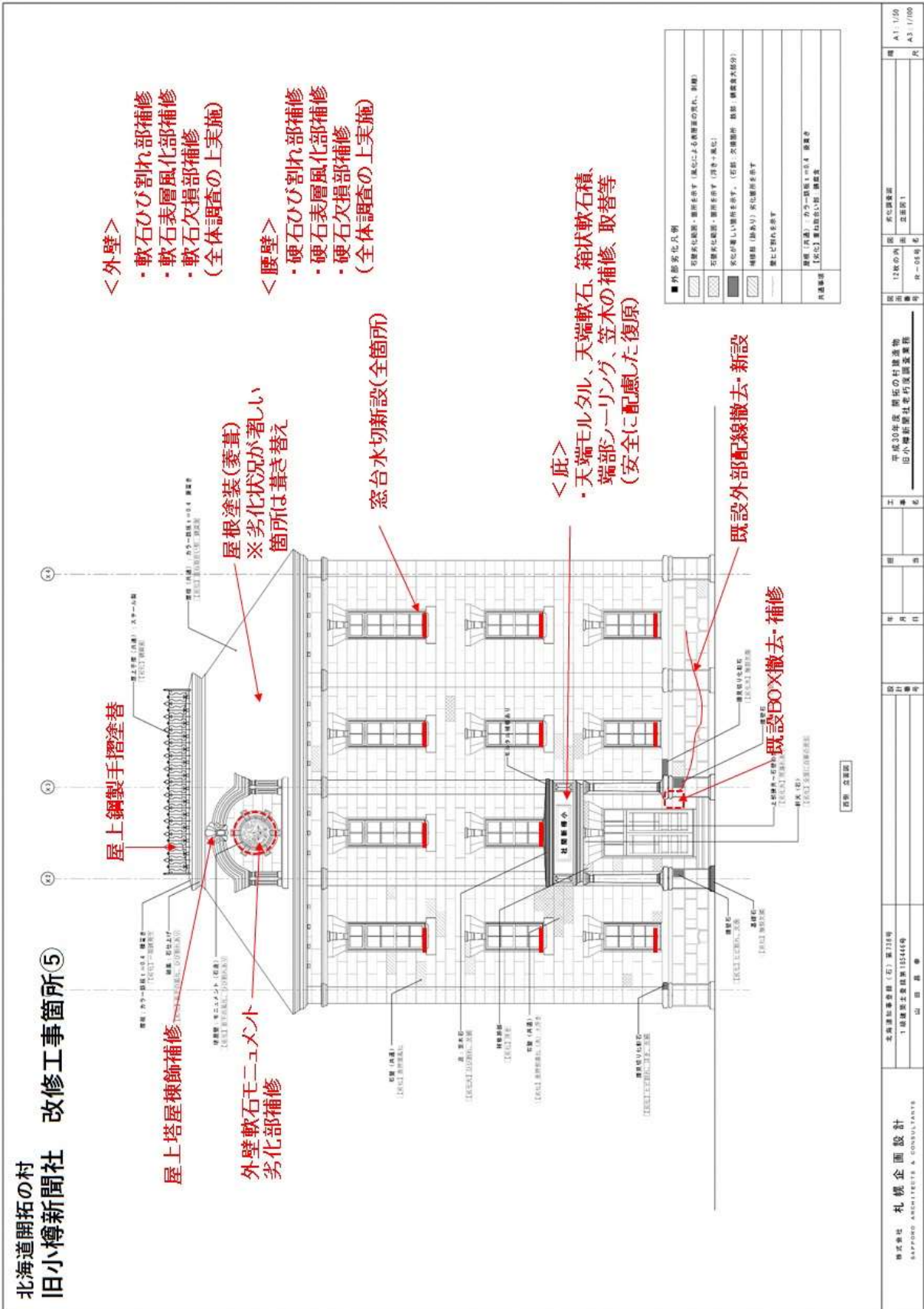
e.基礎

- ・構造的な改修は行わず、外周部の外観補修のみとする。

6. 旧近藤染舗及び旧小樽新聞社 改修方針



株式会社 札幌企画設計 SAPPORO ARCHITECTS & CONSULTANTS 〒060-0808 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号	北海道開拓の村 旧小樽新聞社 〒060-0808 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号	図面番号 04	縮尺 S=1/50	作成 山田 隆幸	承認 山田 隆幸	日付 2024.05.10	階層 1F	図名 屋根伏図	図号 A1.1100 A2.1100
--	--	------------	--------------	-------------	-------------	------------------	----------	------------	--------------------------



北海道開拓の村
旧小樽新聞社 改修工事箇所⑥

<外壁>

- ・軟石ひび割れ部補修
- ・軟石表層風化部補修
- ・軟石欠損部補修 (全体調査の上実施)

<腰壁>

- ・硬石ひび割れ部補修
- ・硬石表層風化部補修
- ・硬石欠損部補修 (全体調査の上実施)

<建物周り>

- ・利用者等に対する立入禁止措置を講じる(鉄製格子柵新設)

■ 外部劣化判別

	石壁劣化範囲・箇所を指示(風化による表面層の剥れ、割れ)
	石壁劣化範囲・箇所を指示(剥き+風化)
	劣化状況が著しい箇所を指示。(任意)欠損箇所 箇所: 損傷状況(部分)
	補修箇所(修あり) 劣化箇所を指示
	修り箇所を指示
	屋根(共通): ひろ一文字葺+一文字葺 【軟石】菱葺形(一文字葺+菱葺)
	両端部等

図	改修箇所図	欄	A1 1/50
説	1枚目の内用	冊	A3 1/100
番	第 01 号	号	R